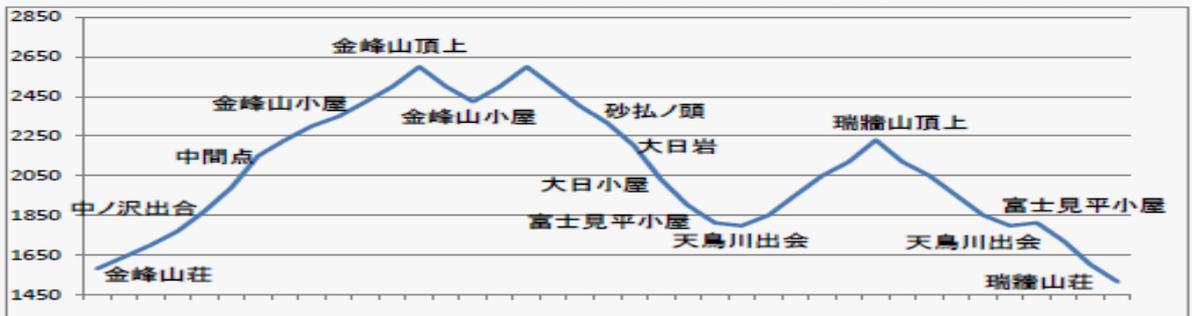


奥秩父の盟主：金峰山と瑞牆山

山歩きレベルで一皮も二皮も剥けず、皮膚の皮しか剥けないメンバーが金峰山口に全員集合



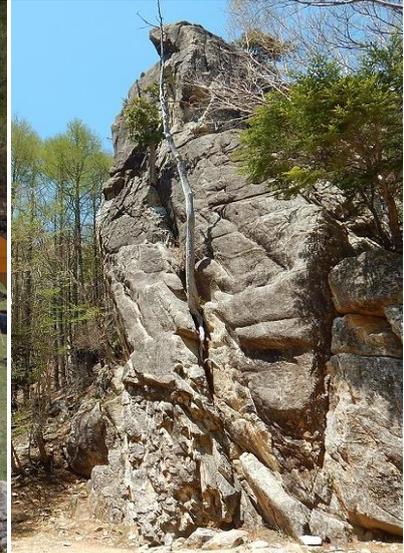
1日目は金峰山、2日目の瑞牆山は富士見平小屋で行くべきか、行かざるべきか決定



ここはふれあいの森の中、屈指の廻り目平キャンプ場



恰好のロッククライミング岩



林道を90分歩きます、左には溪流(神田会は清龍で)が流れてます



♪りんどうの花びらが風に散ったよな・・・津軽娘はないたとき、つらい別れをないたとき。



今もお山道に雪が『ネアカ、ネユキへこたれず』とぶつぶつ



金峯山小屋に15時着 標高2,545m 気温12度



ワイン付ディナー(紙コップ)、缶ビールとお酒 ここでもお酒はぬるめ



1階食事ルーム

寝室は2階



あさひが眩しい(単なる逆光)、隊員には全くと言っていいくらい輝きと眩しさが無い



右中は瑞牆山、左に富士、八ヶ岳連峰の赤岳、少ししか見えてないのがチョット岳



雲ひとつない富士山



南アルプスは雪冠.



金峰山めざして、360度パノラマの絶景



金峰山頂上2,599m



頂上からの五丈岩、昇るな登るなと言っても上る人が絶えない



ここで大きなミス左回りでなく、右から下るであった



クサリ場は手を違えて登り、下りは後ろ向きに気持ちは前向き



岩場、石の道から木道、草道に入る



富士見平小屋着90分の遅れ、瑞牆山は断念、残念です。



ランチは金峰山荘で用意してくれた竹皮のおむすび



富士見平小屋から瑞牆山荘までの道は足元柔らかなの道



秩父多摩甲斐国立公園 瑞牆山荘 1520m



蕪崎駅まで(1時間30分:2060円)のバス



町田一心会の3大打上会場のバーミヤンにて 他はサイゼリヤ、ぎょうざの満州



編集後記

追い越していった人は健脚ではなかった、自分達の足が衰えてきたことに全く気がついてなかつ